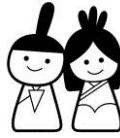


あべのだより



大阪市阿倍野区松崎町 3-6-25

TEL:06-6621-6024

FAX:06-6621-6070

3月号

e-mail: abeno-church@chic.ocn.ne.jp

HP: http://catholic-abeno-church.net

主とともに働こう

カトリック阿倍野教会 広報委員会

教会維持費献金振替口座 郵便振替:口座 No.00950-3-265515 加入者名:カトリック阿倍野教会

三月に想う

サレジオ会 鈴木神父

三月は暦の上の季節では春に入りますが、まだ北風が吹いて寒い日も多く、東北や北海道の山沿いの地域では、まだ厚い雪におおわれています。それでも三月にはいると、吹いてくる風もいく分か暖かくなり、小春日和の日も増えてきて、いよいよ春も近づいてきたという感じがしてくるのではないのでしょうか。毎年この時期になると、思い出し、口ずさみたくなる歌があります。それは、「早春賦」という曲です。雪解けの暖かい春を待つ山里の人々の、何となく落ち着かない待ち遠しい気持ちをうたったものです。

この歌は大正二年にモーツァルトの「春の歌」を下敷きにして作曲されたといわれています。作曲は中田章、作詞は吉丸一昌で、この歌の歌詞と始めの部分の譜面が刻まれた石碑が、長野県の安曇野の梓川のほとりに立てられています。雪深い信濃の国の人々がいつ春がくるのかと待ち遠しくしている様子が目に浮かんでくるような歌です。

冬のさなかに山野を歩くと寒い風が吹いて、草木は枯れて沈んだように見えます。しかし、二月の下旬から中旬頃になると、少しずつ新しい生命の息吹が感じられるようになります。様々な樹木は確実に芽をのばし、もう小さな花を咲かせている草を見ることもできます。二月の寒い時期でも、もう花を咲かせている生命があるのです。三月になれば、さらに、いろいろな花々が咲き始めることでしょう。北国でも雪の間にある地面から雪割草などが顔を出しているかもしれません。このような花を見ていると、自然の中の生命というものはすばらしいと思います。二月、三月の寒さに負けずに精一杯咲いている花の姿は、私たちをととも勇気づけてくれるような気がします。植物たちは動物たちのように動くことができないので、自分が芽を出した場所で生きていかなければならないのです。私たちも、自分たち一人一人が置かれた場所で不平を言わず、精一杯生きていかなければならないと思います。

「春が訪れようとするとき、氷雪は逆に厳しさを増すものである」と中国のある文学者は書いています。本格的な春を待ちわびるこの時期にあてはまる言葉であると思います。この文学者は続けて、こう書いています。「氷雪を越えて前に進んでいこう。春はまもなくやってくるのである」

やがてやってくる暖かい春を待ち望むように、私たちも一人一人、確かな希望をもって人生の歩みを続けていきたいと思えます。

3月の予定

キリスト教講座案内

実施日	時間	内容	場所
木曜日	10:00~11:00	聖書講座	司祭館
土曜日	14:00~15:30	入門講座	2F

朝の祈り 主日ミサ前「教会の祈り」を行います。

おにぎり作り 火曜日 14:00

日付	ミサ	行事等	掃除
3月 3日(日)	年間第8主日	あべのだより3月号発行 評議会 12:30 結婚準備セミナー②14:00	⑤
6日(水)	灰の水曜日 19:00	大阪南朝禱会 10:00	
10日(日)	四旬節第1主日	結婚準備セミナー③14:00 大掃除 ミサ後	⑥
17日(日)	四旬節第2主日 中国語ミサ 14:00	結婚準備セミナー④14:00	⑦
23日(土)			①
24日(日)	四旬節第3主日	9:00~講話・ゆるしの秘跡 10:00~ミサ 11:00~ゆるしの秘跡 結婚準備セミナー⑤14:00	
30日(土)			②
31日(日)	四旬節第4主日		
4月 3日(水)		大阪南朝禱会 10:00	
5日(金)	初金ミサ 10:00		
6日(土)			③
7日(日)	四旬節第5主日	あべのだより4月号発行 評議会 12:30	

☆ 受洗おめでとうございます ☆

ルカ 片嶋 勝 さま C-3 地区
ヨゼフ 川端 俊明 さま C-3 地区